

天

天

「県を動かす我孫子市に！」千葉県から我孫子市をバックアップし、我孫子市のために奔走します。

討論資料

## 6 手賀沼に生息するコブハクチョウの稻被害防止対策

### 深刻な農作物被害に千葉県が主体的に対策を講じるべき！

千葉県が2020年2月に行った手賀沼に生息する外来種であるコブハクチョウの観察個体数は168羽で、特に印西市の発作橋付近では、114羽確認され、その他少数個体が広範囲で生息しています。コブハクチョウは稻の上っ面や稻自体を食害し、農家からの深刻な被害報告が増加しています。また、人による給餌により生態系への影響が出ることも懸念されます。

#### 我孫子市における被害面積

平成30年度 10a → 令和元年度 32a

△ 令和2年度調査中ですが、昨年より圃場への侵入箇所が広範囲のため被害が深刻になることも懸念されます。

**水野ゆうきの要望** 市単独で対策を講じていても、対処療法に過ぎない。手賀沼を維持管理する県と被害を受けている手賀沼周辺4市が連携して対策を講じていく必要がある。今後は手賀沼4市としっかりと連携して県が主体的に取り組むことを強く要望する！

## 7 道路の交通安全対策

### 横断歩道や「止まれ」等の路面標示の塗り直しは早急に！

千葉県内における令和元年の交通事故発生件数は16,476件で全国ワースト9位という状況です。

交通事故の主な発生区分は交差点が44%で7,221件。交差点付近まで含めると約60%の10,239件となります。特に高齢者の交通事故では、死亡者数172人のうち52%にあたる90人が65歳以上と約半数を占めており、高齢者が関わる死亡事故を防ぐための交通安全対策が重要な課題です。

すでに設置されている横断歩道や「止まれ」等の路面標示が消えかかっていることによって運転手への注意喚起の効果が薄れているとの声もあり、県内のいたるところに塗り直しが必要となっています。県警本部に対し、早期解消を求めました。

#### 令和元年度中の横断歩道の補修実績

平成30年度中に実施した県下全横断歩道の一斉点検結果を基に抽出した早急に補修が必要と認める箇所については補修を終了しており、令和元年度には約2,400箇所の横断歩道を補修済。摩耗は日々進行することから、引き続き摩耗状況の把握に努めながら、横断歩道の維持管理に努める。

## 2021年(令和3年)3月は千葉県知事選挙です！



### 水野ゆうきからのお知らせ

- 千葉県議会議員は新型コロナウイルス感染症の厳しい情勢を鑑み、令和2年8月から令和3年3月までの8か月間、県議一人あたり報酬額8万8千円（合計70万4千円）削減しております。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために不特定多数と接する駅頭等は控えております。



#### 水野ゆうき 主な役職

●千葉県議会議員(無所属系会派「千翔会」幹事長)  
県土整備常任委員会委員

千葉県議会フリースクール等教育機会確保議員連盟 幹事  
千葉県議会スポーツ振興議員連盟 幹事  
千葉県議会地震・津波対策議員連盟 幹事

他ホームページに掲載 水野ゆうきへのご意見・応援メッセージは公式ホームページまで <https://mizunoyuuki.com/>

#### 水野ゆうき プロフィール

1983年2月19日生の37歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国口サンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入。帰国後は茨城県私立若狭学園中学校編入、同校高校卒。津田塾大学芸術部国際関係学科卒。東証一部上場物流会社に入社し約3年間役員秘書として勤務後、民放テレビ局勤務(BSフジ「PRIME NEWS」担当)。2011年我孫子市議会議員選挙当選。2015年千葉県議会議員選挙当選。2019年千葉県議会議員選挙2期目トップ当選。



発行:水野友貴 T270-1154 千葉県我孫子市白山3-6-5 TEL.04-7100-0068

「やる気!」「元気!」「ゆうき!」我孫子市、千葉県のために全力投球！

千葉県議会議員(我孫子市選出・無所属)

会派「千翔会」幹事長

# 水野 ゆうき

千葉県議会報告  
ゆう Can Change!  
vol.038

Blog <https://ameblo.jp/yuukimizuno/>

Facebook 水野友貴

twitter @yuukitten



#### 水野ゆうきの一般質問項目

- 1.新型コロナウイルス感染症対策

#### 2.情報発信のあり方

- 3.自殺対策
- 4.薬物乱用防止

- 5.女性特有の疾病対策
- 6.コブハクチョウ被害防止対策
- 7.道路の交通安全対策

## 1 新型コロナウイルス感染症対策

### 県民にわかりやすい情報提供を！

新型コロナウイルス感染症に関しては「保健所」が患者・濃厚接触者等の調査や情報収集、疫学調査等を行っています。「保健所」は国の地域保健法により、都道府県・政令指定都市・中核市が設置することができ、千葉県では県・政令指定都市・中核市がそれぞれの権限で保健所を設置しています。

つまり、同じ千葉県であっても保健所(設置者)毎に権限を有しているために、保健所設置者により対策や対応、公表内容が異なっています。

#### 千葉県内の保健所

- 千葉県(都道府県) 県内 13か所  
※我孫子市は千葉県が所管する  
松戸保健所
- 千葉市(政令指定都市) 独自設置
- 柏市(中核市) 独自設置
- 船橋市(中核市) 独自設置

#### 保健所縛りの問題点

- 4保健所設置者それぞれが権限を持っていますため、同じ千葉県・千葉県民であるにも関わらず、それぞれの保健所設置者の考え方の元に対応・公表している。そのため検査方法や情報発表内容が統一されておらず、公表内容や発信方法も異なる。

#### 水野ゆうきの指摘と要望

- 千葉県は保健所独自設置市3市と連携し、公表内容等を統一することで県民にわかりやすい情報提供を行うべき！
- 新型コロナウイルス感染症情報はホームページに掲載するだけでなくSNS等で積極的に対策等も発信することは行政の責務である！

### 新型コロナウイルス感染症本部事務局体制強化を！

千葉県は令和2年4月6日に86名の体制で新型コロナウイルス対策本部事務局を発足。最大時には175名体制に。第1波終了後、本部事務局の人員は107名体制に再編成され、マンパワー不足が懸念されます。

**水野質問・要望** 保健所における感染症対策を担当している健康福祉部疾病対策課では時間外勤務時間が他の課よりも多く、10月以降、様々な集団でクラスターの発生が続いている新規患者数も急増。第3波は第1波を超える勢いであります。今後も新規患者数が増えることを想定されることから、それに対応する本部事務局の職員も増やす必要があります。

**森田知事答弁** 最近の患者数の増加に伴い本部事務局においても業務が増えてきていることから、更なる人員体制の強化について検討する。

#### 要請と補償はセットにすべきである！

千葉県は我孫子市を含む東葛地域11市の飲食店などに12月2日～22日までの間、酒類提供を午後10時までと要請。しかし、協力金等の支給がなかったことから「要請を行う場合は補償をセットにすべき！」と議場で訴えました。

新たに千葉県が東葛地域及び千葉市で酒類を提供する飲食店(カラオケ店舗)に対し行った営業時間の短縮要請(令和2年12月23日～令和3年1月11日)では、ご協力いただいた事業者(個人事業主)に一律80万円(1日4万円)を協力金として支給する運びとなりました。

地

地